



道の駅建設地

で出荷いただけるとの了解を得ている。  
②経営難に陥った場合の最終責任は、事業者にあると解している。経営難に陥らないよう協力できる範囲で応援していく所存ではあるが、万が一経営破綻した場合、市は契約を解除し、それ以後の道の駅の運営方針を再検討することになる。

### 定住促進に向けた「学力向上」について

**議員** 笠岡を学力の高い市にすることは、定住促進の重要な施策の一つと考えるが、市長の見解をたずねる。  
**市長** 学力の向上・教育の充実を図り、他の自治体に対して優位性を保つことは、転入への動機づけやきっかけになるのではないかと思っている。本市がずっと住み続けたいまちとなるためには、市全体の施策の充実と市民サービスの強化を図り、魅力的なまちづくりを進めることが重要である。

## 藤井義明議員

### 公共下水道について

**議員** ①平成21年度に公共下水道事業の見直しが行われたが、変更があった地域で住民説明会は行われるのか。  
②市町村設置型合併浄化槽も含めた比較検討を行うことは考えているのか。

**市長** ①本年度中に、県内市町村の汚水処理計画を取りまとめた「クリーンライフ100構想」が示される予定である。これが示された後に、笠岡市下水道基本計画の見直しの内容について、地域の代表者の方と相談しながら説明会を開催したい。

②合併浄化槽については、今後の取り組みの一つとして、浄化槽市町村整備推進事業による整備について調査研究に取り組んでいきたい。  
**議員** 尾坂地区は、市町村設置型合併浄化槽にすべきではないか。  
**上下水道部長** 今後調査研究していく。



マンホールのふた

### 吸江社及び再任用職員・特別職嘱託職員・一般職嘱託職員について

**議員** ①外郭団体である吸江社への市の監査体制についてたずねる。  
②嘱託職員には、退職金は支給されているのか。

**市長** ①現在、吸江社へは市の職員4人を無報酬の役員として派遣している。吸江社への直接的な監査は、役員4人のうち監事が1人おり、市職員以外の監事1人と合わせて2人体制で行っている。さらに、吸江社が市の施設を管理する対価として市から委託料を払っているが、この委託料が適正に支出されているかどうかどう

かについては、市の監査委員による監査が行われている。  
②嘱託職員については退職手当の制度はないが、市や企業を退職して再就職した者を除く一般職の嘱託職員で、専門的な職種に従事する職員に対して功労金として支給している。

## 原田毅議員

### 国民健康保険事業について

**議員** ①国民健康保険は、市民の命と健康を守る大切な制度である。滞納を理由にした「資格証明書」の発行は、国保は社会保障制度との位置づけから、さらに、憲法上の精神からも、中止すべきではないか。  
②平成21年度の決算見込み、基金の状況から、国保税はまだ引き下げできる。基金に対する見解をたずねる。  
**市長** ①資格証については、国民健康保険法に基づき、

**議員** ①物品販売を行う上で、農協・漁協の協力体制がないと聞いているが、どのようにして笠岡産の品揃えができるのか。  
②万が一、業者が経営難で撤退することになった場合、最終責任はどこにあるのか。  
**市長** ①農協からは、事業者として参画することはできかねるが、農家の所得向上にも貢献する施設なので、応分の協力はさせていただくとの回答をいただいている。また、漁協からも、直売所への委託販売という形式は、鮮魚という性格上難しい面もあるが、地元の魚を地元で販売するという基本理念に従い、適正な価格

(注2) 吸江社…財団法人総合福祉事業団吸江社。笠岡市が設置する公の施設の利用増進を図るため、昭和58年に市が設置しました。